

平成29年 3月24日

長与町議会
議長 内村 博法

研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条の2の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 議会広報研修会（長崎県町村議会議長会）
2. 研修日時 平成29年1月18日（水）13時00分開会
3. 研修先 長崎県市町村会館6階
（長崎市栄町4-9 TEL095-827-5511）
4. 研修目的 議員の資質向上に資するため
5. 所見 （記載は議席番号順）

【中村 美穂議員】

議会広報研修会でグラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に迎え、「広報誌の編集のポイント」という演題で講演と、広報誌クリニックの研修を受講してきました。議会だよりを住民にわかりやすく情報提供するための紙面構成については、情報検索が容易にできるように、関連情報を誘導する文章が表示されているのか、住民に読んでいただくための紙面編集の工夫がされているか、議会用語等わかりにくいものには、脚注を設けているか等、一つ一つ詳しく説明を受けました。その他にも字体や文字組、色使い、写真の配置一つにしても読みやすくなる工夫ができる事を学びました。

広報誌クリニックでは、参加している議会の議会だよりを一つずつ取り上げて、良い点、改善した方が良い点をあげて、同じ議会だよりでも議会ごとに特色があり、

じっくり読ませていただくことで、参考になることがありました。本町の議会だよりについては、表紙や一般質問のページはおおむね良い評価をいただきましたが、最終ページにQRコードを載せてホームページにすぐ閲覧できるようにしているのを、一般質問の最初のページにも載せると良いのではないかという指摘を受けました。住民に手に取ってもらい、読んでいただく為の努力は今後も引き続き続けながら、より良い広報誌作りを心掛けていきたいと思いました。

【安部 都議員】

今回の研修会にて、「広報紙の編集ポイント」について、「広報紙の媒体性を知る」ことなどご教授頂いた。まず、特に印象的だった言葉が、「自分の欲しいと思う書籍は、お金を出してでも情報を得るために買うが」それとは反対に「広報紙は、無料で配布されるため、興味がある人は、読むが、興味がない人は、読まない」ということで始められ、「なるほど」と改めて納得させられた。

だからこそ、印象にどうやって残るものにするのか。どうやって盛り上げて手に取ってじっくり、読まれる「議会だより」にするのかということだ。住民に読んで頂くための編集工夫、紙面編集、読みやすい字体か、長文ではなく、なるべく短文で筆記体より、ゴシック体で書く事。請求情報のロジック（情報の流れ）を考えた紙面配置、情報検索が容易にできるようになっているか。例えば、QRコードやURLをつけたりして、容易に検索出来るようにする。又、「写真一枚で、文字の何百字もの効果がある」ということだ。時には、アクセントを入れて、視覚要素も取り入れることも効果があるという。最後に、住民が参加する議会だよりが、広報誌の認知度に繋がり、閲読効果が口コミで広がり、議会とのコミュニケーションを図るツールと期待できるものだという事だった。この研修を踏まえ、リード・アミを用いてより視線の誘導を図り、読みやすい、住民参加型の読みやすい、手に取って読んで頂ける、住民に喜ばれる議会だより作成に向けて今後も一層努力していきたい。

【金子 恵議員】

指摘項目

- ① 第〇回定例会 のタイトルを入れる。
- ② 一般質問の扉にあるホームページへ飛ぶことができるようにQRコード・URLの表示
- ③ 議員質問内容はわかりやすい、読みやすい文章で。
※ これに関しては、各議員が作成するという事から原文を尊重している。
しかし、議会の広報紙であることを考えると検討の余地があると思う。
- ④ 見出しは1問目から持ってくる事が望まれる。
見出しで引き付け、本文を読んでもらう必要性。

- ⑤ 長い文章（特別委員会などの報告記事）は小見出しで読みやすくする。
- ⑥ 賛否表は編集のロジック（流れ）を考慮し、定例会情報（議案記事）に集約する。
- ⑦ 1 ページ内での中身は統一したものにすることが必要。

以上のことから、ある程度の評価を得たが、課題も見えてきた。長与町議会だよりは編集要綱、要領を徹底して守ることで、一つの形を作ってきたこと、また今までの広報担当委員により、それが継続されてきた部分が高評価の一因と思う。

今後、要綱・要領を基に継続していきたい。

今の議会は、情報公開が求められている。新鮮さ・正確性・わかりやすさを基本に、読みやすく、引き込まれるような広報紙を目指していきたい。

【分部 和弘議員】

(1) 「広報紙の編集のポイント」

住民に分かりやすく情報訴求するためのポイントについては、パラパラめくってでも見ていただけるような情報の流れがあり、紙面構成を上から下にを基本とし、次ページまでつながるように読み手がめくるような構成が大切である。また、読んでもらうための紙面編集については、住民に情報の興味を抱かせる見出しの設定が必要で、ページを開いたときに力を持った見出しが読み手を引き付ける内容となるように工夫しなければならない。その他、ホワイトスペースの使い方、フォントのデザイン、グラフ配置、視線の誘導など、今後の「議会だより」の編集に向けて重要なことを学ぶことが出来た。

(2) 広報誌クリニック

区分やタイトルの見出し、URLの表示が必要、長い文章情報があり小見出しの設定を行うことなど、多くの課題を頂いた。特に読みたい部分については、ホームページにすぐに移動できるように、URL表示を行うことで読み手に分かりやすい紙面づくりを行う。また、写真やカットの構成、位置など細かく指導いただいた。今後の紙面作りに工夫していきたい。

【岩永 政則議員】

今回の研修のテーマは、一つには、広報誌の編集のポイントの講演。二つには、各町から提出された議会だよりのクリニックであった。

講師は、この二つのテーマともグラフィックデザイナーの長岡光弘氏である。

その活動暦が紹介されたが、東京都広報コンクール審査委員、全国広報コンクー

ル広報部門審査委員、町村議会広報表彰審査委員等を歴任された方で、本職はグラフィックデザイナーとの事である。

本題に入るが、一つ目の講演については、講演のレジメを添付され、その順序に従っての講演であった。主な内容を記す。

1、広報紙の編集のポイントでは

A) 広報紙媒体の特性を知ること。

- ①議会だよりは、手にとってみられること。
- ②特集などあり、各ページで演出できること。
- ③記録紙としての機能があること。④保存機能があること。
- ⑤各世帯に配布されること

などをよく知ることが必要であると教示された。

B) 広報紙の編集のポイントは

- ①住民に分かりやすく情報訴求するための紙面構成か。
 - ②住民に読んで頂くための編集の工夫は。③住民に分かりやすい紙面編集か
 - ④可能性のある文字組か。⑤見やすい紙面表現か…などの工夫を心がけること。
- などの教示があった。

以降は、このポイントの5点について、要点を記しておきたい。

①の住民に分かりやすく情報訴求するための紙面構成か。について

*訴求とは…『私は、この訴求の意味を、住民が、訴え求めることと解釈したのであるが』、情報訴求のロジック(情報の流れ)を考えた紙面配置か。

*訴求する関連情報を隣接する紙面に配置されているか。

などの教示を受けた。

②の住民に読んで頂くための編集工夫。について

*住民に情報の興味を抱かせる見出しが設定されているか。

*情報の理解を高めるために、ビジュアルを用いているか。

(ビジュアルとは…目に見える、視覚の、視覚教材)…写真など

*住民参加の紙面企画があるか。

(表紙に写真など)

③の住民に分かるやすい紙面編集か。

*文字情報の役割を活用した紙面編集か。

*議会用語には、紙菌に脚注を設けているか。

(脚注とは…本文の下につける注のこと・注記のこと)

- *見出し文章と見出しの情報が書かれた本文は、隣接した情報配置か。
(例えば、2~4 ページに議案情報がある場合に、議案に対する議員の賛否表は隣接したところに配置を)
- *本文の一文が長くないか。…60 字で切ること。
- *情報の区分に関して、視覚的な訴求が図られているか。

④の可能性のある文字組みか。

- *広報誌の表現主体となる「書体」か。
- *リード・本文の可読性は。
(行間を空ける。1 段組を 2 段組になど)…読みやすくなる
- *表組・グラフ・写真の中に配置された文字の可読性は。

⑤の見やすい紙面表現か。

- *視線の誘導を図った紙面表現か。
- *縦組・横組を併用した紙面は、視線の混乱を招かない紙面表現か。
- *複雑な紙面表現はないか。
- *複数の情報が掲載されている紙面は、視覚的に情報区分が施されているか。
- *アイサツの法則を用いて、紙面編集及び表現を確認する。

アイサツのアは…アテンション(注意) イは…インタレスト(関心)
サは…サーチ(検索)

次には…アクション(行動) 最後には…セアー(共有)

(住民の視点で、紙面編集と表現を確認)するようにとの事であった。

以上「広報誌の編集のポイント」についての講演内容であった。

レジメに基づいた資料は、順序良く整理され、説明も分かりやすかったと感じた。

次に二つ目の、議会広報のクリニックは午後 14 時 15 分から 16 時まで行われた。

5 町のクリニックの依頼があり、我が長与町議会から参加した。

順序は、時津町、川棚、小値賀、佐々、最後に長与町の順で行われた。

長与町議会だよりについてのみ、言及すると総体的にはお褒めのことばが多かったと思う。

ただ、17 ページにある『議案および賛否』は 4 ページに持って行ったほうが良いとの指定があった。

最後に、全体的な論評として『住民視点を以って紙面づくりを』との指摘を以つ

て終了となった。今期の議会だよりの編集も、3月定例会を以って終了となる。委員一丸となって住民の視点に立って、より見やすい議会だよりの編集に努めたい。

【吉岡 清彦議員】

「広報紙の編集のポイント」 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

(A) 広報紙の媒体特性を知る。

- ①手にとってじっくりと読める・見られる
- ②複数紙面による情報のストーリーの演出ができる
- ③記録紙としての機能がある
- ④保存機能がある
- ⑤広報の広報メディア機能（広報のハブメディア）がある
- ⑥各世帯に配布される

(B) 広報誌の編集のポイント

- ①住民に分かりやすく情報訴求するための紙面構成か
- ②住民に読んで頂くための紙面編集の工夫は
- ③住民に分かりやすい紙面編集か
- ④可能性のある文字組か
- ⑤見やすい紙面表現か

最近の研修では一番良かったと思う。

特に各町村の広報紙に手を加えての指導が見られた。

広報紙の役目として住民から読んでもらえる紙面づくりが大切であると再度感じている。

【竹中 悟議員】

今回の研修については陳情の為 14 時 25 分からの参加で講演については視聴しておらず 時津の広報紙クリニックから参加した

主に紙面構成編集のあり方表現の工夫 住民が見やすく わかりやすい紙面編集であるか の講演であった

又 5 町の議会だよりのクリニックがあり 内容について長与町議会だよりの実態を添付する

6. 欠 席

浦川 圭一議員